

中高図書館通信 パピルスのかご

青山学院大学系属
浦和ルーテル学院図書館
【2024年1月】



新年おめでとうございます。



本校は埼玉県さいたま市緑区大崎に所在しています。

埼玉県民の人もそうでない人も「さいたま」のことを知ってみませんか？

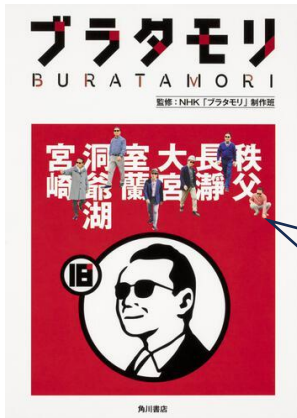
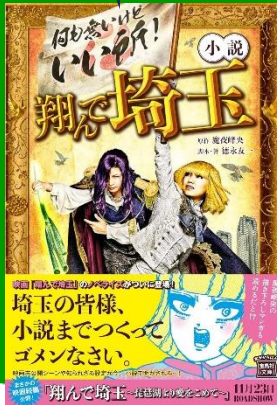


ご存知！



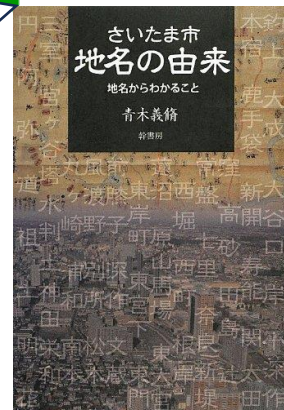
「埼玉の教科書」
JTB パブリッシング
算数・国語・社会・理科の
各科目に分かれて「埼玉」
について学びます。埼玉の
銘菓は家庭科で！

「埼玉のトリセツ」 昭文社
地図や地形で埼玉の産業や
文化を読み解く！
初耳秘話もたくさん。



「さいたま市地名の由来」
青木義脩著
“大門村”他三つの村が合併して
「美園村」が生まれたそうです。
その後浦和市へ。

「ブラタモリ 18」
「ブラタモリ」制作班監修
タモリさんが秩父・長瀨・大宮を
訪ねた回の収録本。各本面から魅
力を探ります！



推薦図書コーナー

この本
イチオシ!



「数の悪魔」

エンツェンスベルガー 著 晶文社

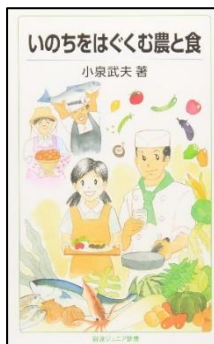
算数や数学なんて大きらい！そんな少年ロバートの夢の中に、夜な夜な、ゆかいな老人「数の悪魔」があらわれ、真夜中のレッスンが始まります。1や0のマジック。ウサギのつがいの秘密。パスカルの三角形。ホップする和也席替えの話。旅するセールスマンの問題など。ここは夢の中の教室で、先生は数の悪魔。数学なんてこわくない。数の法則が目からウロコが落ちるようにわかるようになります。



「いちばんやさしい！組ひも」

多田牧子 著 日東書院

「組ひも」といえば「ミサンガ」を連想するかもしれません。どちらも細い紐を編み上げて作りますが、用途や歴史が違います。「組ひも」日本では縄文時代から作られていました。平安時代以降、武具（鎧や具足）や神仏関係（経典を結ぶ紐）に、明治以降は帯留めなどに使われてきました。日本の伝統工芸品である「組ひも」作りにチャレンジしてみませんか。



「いのちをはぐくむ農と食」

小泉武夫 著 岩波書店

1年間に農業に就く農業後継者が5000人を割り、食料自給率も40%を割りました。食品の安心と安全にも不安があります。そんな日本の農と食に未来はあるのでしょうか？各地で活性化策をアドバイスしてきた小泉先生が再生へのカギをにぎる取り組みを紹介してしっかり道を切り開いてくれています。



「西洋絵画のみかた」

岡部昌幸 著 成美堂出版

レオナルドダヴィンチ、ミケランジェロ、フェルメール、ドラクロワ、モネ、ゴッホにピカソ！世に名画といわれている巨匠たちの作品をもっと深く鑑賞できたらいいなと思ったことはありませんか。本書では作品に込められた謎めいた象徴や意味を様々な手法で解き明かしてくれます。また画家のエピソードを通して新たな視点で作品を鑑賞（体感）させてくれそうです。